

3 月号

2009 平成21)年
3月12日発行

SCHOOL
JURIDICAL PERSON
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園ニューズレター
[ネオス] No. 3

発行元: 学校法人大阪産業大学
学園振興企画部 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市
中垣内3丁目1番1号
TEL: 072-875-3001
<http://www.osaka-sandai.ac.jp>



大産大ラグビー部 悲願の1部昇格!

■高校3球技全国大会で雄飛……02

大産大附高アメフト部／大阪桐蔭高ラグビー部／
大阪桐蔭高サッカー部

■新入生の皆さんへ……04

学長・2校長からのメッセージ
先輩からのメッセージ

■知ってトクする学内便利MAP……06

■プロジェクト 共育……08

「知の場」を存分に活用しよう

■キャリアセンターから……11

就職活動に向けての取組みと就職の現状について

■卒業特集……12

学長メッセージ
大阪産業大学附属高校／大阪桐蔭高校／
附属歯科学院専門学校

■大学・ピックス……14

「共育」の原点ここにあり
——クリエイティブセンター

10分の1電動ツーリングカー全日本選手権
エキスパートクラスで優勝

■ニュース&ピックス……16

■編集後記……20



残り 13秒で大逆転

2年連続7回目の全国制覇

大産大附高アメフット部

大阪産業大学附属高校アメリカンフットボール部は昨年12月23日、神戸市の王子スタジアムで行われた第39回全国高校アメリカンフットボール選手権大会決勝・クリスマスボウルで、早稲田大学高等学院と対戦。残り時間13秒で劇的な逆転タッチダウンを決め、28－21で2年連続7回目の全国優勝を果たした。

試合は、第1クォーター（Q）1分47秒にRB井上選手が敵陣7ヤード（yd）から中央突破でタッチダウン（TD）を奪い先制。3分46秒にも自陣38ydから井上選手が62ydを走り2本目のTDを挙げた。第2Qの8秒には、QB荒木選手がスクランブルプレーから5ydを自分で持ち込み3本目のTD。20－0と点差を広げた。

早大学院もパス攻撃で6分26秒に1TD

を返し、前半は20－7と産大高がリードして終わった。しかし産大高は荒木選手が、右肩を負傷するアクシデントが発生。後半からQBに國方選手が入ったが少しずつ流れが早大学院に傾いていった。第4Q5分38秒に、10ydのTDパスを決められ20－14と点差を詰められる。10分40秒には早大学院のRB小林選手の37ydTDランと、トライフォーポイント（TFP）のキックも決められ20－21と逆転を許した。残り時間はわずか1分20秒。

ここから産大高は底力を見せた。自陣46ydから2回ファーストダウン（FD）を更新して24yd進んだ後、パス失敗で時計を止め、WR宜本選手がパスを投げるスペシャルプレーでさらに16yd前進しFD。残り14ydとなって井上選手がまず中央突破で4yd進み、残り時間13秒で最後も井上選手が中央を突破の逆転TDランを決めた。TFPでは2点コンバー



第1Q3分46秒、井上選手の62yd独走TDラン

ジョンを成功させ、28－21。このまま試合終了となった。

個人表彰は、三隅杯（最優秀バックス賞）にこの試合で226ydを走ったRB井上周選手、安藤杯（最優秀ラインマン賞）にDL武知現大選手が選ばれた。

山崎隆夫監督は「QB荒木が前半で肩を痛めて後半出場できず、プレーが無くなってしまった。早大学院はパスもうまいし強かった。日本一は厳しい。そんなに簡単にはなれない。最後はエースの井上に賭けた。TD前のパスは春から毎日練習していたプレーで、春も秋も一回も使っていなかったが、毎日練習したかいがあった。今年のメンバーは最後に精神力の強さを見せてくれた」と語った。

井上選手は「監督がぼくを頼りにしてくれたので、最後は自分がやらないとあかんと思いました。ラインやレシーバー皆のブロックのおかげです」と話した。



第2Q荒木選手のスクランブルでTD



花園で2勝、ベスト16入り

大阪桐蔭高ラグビー部

大阪桐蔭高校ラグビー部は、大阪府第2地区代表として、昨年12月27日から東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開催された第88回全国高校ラグビーフットボール大会に出場。1回戦は群馬県代表の東京農業大学第二高校に20-0で完封勝利。2回戦は山口県代表の萩商工高校に45-5で快勝し、ベスト16入りを果たした。しかし、3回戦はAシードの強豪、東京都第1地区代表の国学院久我山高校と対戦。5-41で敗れ、8強入りを逃した。

●1回戦 20-0東京農大二（12月27日、第2グラウンド）

大阪桐蔭は、前半7分、川崎選手が左サイドに、28分には山本昌選手が右中

間にトライを決めた。前半ロスタイムには、白石選手が右中間50㍍のペナルティーゴール（PG）を成功させた。後半26分にも山本昌選手が右中間にトライ。完封勝ちした。

●2回戦 45-5萩商工（12月30日、第3グラウンド）

大阪桐蔭は前半19分、白石選手が中央にトライし先制。22分に山本昌選手が中央に、27分、釋選手が左隅に、31分に岩谷選手が左中間にトライを決めた。後半も12分に岡本選手が右隅に、16分に古川選手が中央に、27分にも山本昌選手が中央と次々にトライを重ね、相手を1トライのみに抑えて快勝した。

●3回戦 5-41国学院久我山（1月1日、第3グラウンド）

前半6、10、18分と立て続けにトライを奪われ19点差を追う立場となった大阪桐蔭は23分、久我山のキックを保田選手がチャージ、そのまま右中間にトライし、5点を返した。しかしその後も28、30分と後半16、26分にトライを奪われ、点差が広がっていった。大阪桐蔭は、スクラムや接点で圧倒され、特に前半ペナルティーが多くリズムをつかめなかった。綾部監督は「来年は15人一体の大阪桐蔭らしいラグビーを作り、しっかり積み上げて帰ってきたい」と話した。



初の全国大会で初戦大勝

大阪桐蔭高サッカー部

●準優勝校にも健闘

大阪桐蔭高校サッカー部は、昨年12月30日から行われた第87回全国高校サッカー選手権大会に大阪府代表として出場した。1回戦は岩手県代表の不来方高校に5-0で完封勝ち。2回戦は準優勝した鹿児島県代表の鹿児島城西高校に2-5で敗れ、ベスト16入りできなかったものの、初出場での活躍に惜しめない拍手が送られた。



●1回戦 5-0不来方（12月31日、千葉・市原臨海競技場）

大阪桐蔭は4-4-2の布陣からショートパスで攻撃を組み立てる。3分に保井選手がゴールエリア左5㍍の位置からFKを直接ゴール右隅に決め先制。4分には右サイドの牧野選手からパスを受けた中央の保井選手がそのままシュートし2点目を挙げた。42分に永澤選手のクロスを高山選手がヘディングで合わせ3点目。不来方のPKをGK藤原選手がファインセーブするなどして失点を防ぎ、54分には左サイドから牧野選手、福田選手、永澤選手とつなぎゴール右下にシュートを決めた。65分には保井選手のクロスを星原選手が右足で合わせダメ押しの5点目を奪った。

●2回戦 2-5鹿児島城西（1月2日、千葉・柏の葉公園総合競技場）

両校とも4-4-2のダブルボランチのシステム。12分、鹿児島城西に先制されたが、大阪桐蔭はその1分後に高山選手がドリブルで持ち込んでゴール左にシュートを決め追いついた。しかし32分、鹿児島城西に勝ち越し点を奪われ1-2で折り返し。後半は、48、54、56分に追加点を許してしまった。それでも大阪桐蔭は68分、矢野選手がシュート、こぼれ球を高山選手が押し込み2点目を奪ったものの反撃はここまでだった。永野監督は「相手の早い攻めに浮き足立ってしまった。この敗戦を来年に生かしたい。選手たちのまとまりの良さはこれまで勝てた要因の一つだが、自らかじ取りをする選手がいなかった。一人一人の個性を伸ばす指導に力を入れたい」と話した。



学長・2校長からのメッセージ

プロジェクト共育で基礎力育成



大阪産業大学・同短期大学
学長 籠谷 正則

新入生の皆さん。ようこそ、大阪産業大学へ。私は学長として、入学される皆さんを、全学教職員460名、在学生8000名、卒業生7万6000名を代表して、心から歓迎いたします。

皆さんは「宝石」になるための、大切な大切な原石です。私たちは、皆さんを磨き上げて社会へと送り出したいと願っています。その仕掛けの一つとして、「プロジェクト共育」を実施しています。プロジェクト共育とは、学部学科の壁を超えて、大学の総合力を生かすことをテーマに、学生が自らの興味と関心に応じて参加し、自主的に活動する創造体験型のプログラムです。このプログラムにより、自主性、創造性、問題解決能力、コミュニケーション能力など、社会人として必要な基礎力を育成しています。プロジェクトテーマは、この4月から40件程度になる予定です。

このプログラムを経験した皆さんの先輩の中には、既に光り輝く人たちが沢山います。彼らは、

- ・真剣に自ら選んだテーマに取り組んでいます。
- ・チームが一丸となることで、素晴らしい人生の友を得ています。
- ・自分の可能性を高める努力を惜しみません。
- ・学部学科を超え、社会ともつながり、自分の世界を広げています。
- ・就職活動で自らを熱く語り、いくつもの内定を得ています。

ドアは開かれています。皆さんには、チャレンジして欲しいのです。二度とない大切な時間です。止めることが出来ず

流れていく時間です。価値ある時間にしようではありませんか。皆さんの気持ち、前向きな姿勢、一歩前に踏み出す勇気がそれを可能にします。

本学園の建学の精神は、「偉大なる平凡人たれ」です。解釈の仕方によっては、いろいろな意味に読み取れる不思議な言葉です。そして、私たちを支える言葉です。どんな小さなことでも、人々と事実を分かち合い、着実に積み重ねていける、平凡だけれども、そんな魅力ある偉大な人になっていただきたいと願っています。そして、私たち全教職員は、そのことが実現するよう全力でお手伝いすることを誓って、新しい仲間を迎える歓迎の言葉と致します。

高い目標を設定しよう



大阪産業大学附属中学校・高等学校
校長 平岡 伸一郎

新入生の皆さん、大阪産業大学附属中学校・高等学校へのご入学おめでとうございます。今から始まる3年間あるいは6年

間の学校生活が充実したものになるように、本校は全力で取り組んでいきます。

昨年は学園創立80周年の記念すべき年でした。ですから皆さんは次の90周年、100周年に向けて、新たな第一歩の学年ということになります。先輩が築いてきた伝統の上に、新たな伝統を皆さんの手で築いていきましょう。

いろいろな目的と目標を持った仲間がこの産大附属に集まります。それらを達成できる教育環境がこの産大附属にはあります。高い目標（「ちょっと無理かな」と思うくらい高くても良いと思います）、これを設定することです。そしてそれに向かって毎日努力することです。「継続は力なり」です。本学の建学の精神「偉大なる平凡人たれ」にもつながる精神で

勉強することを外してはいけません。これが何よりも優先です。しかしクラブ活動も積極的に参加して文武両道を目指しましょう。そのためには、人として、産大附属生として、マナーやルールをしっかり守る、社会常識を身につけるということが大切です。産大附属はその可能性に満ちあふれた学校です。さあ、新入生の皆さん、良い仲間をたくさん作って、楽しくも充実した生活を送りましょう。3年後、6年後の卒業するときに「産大附属で良かった」と思えるように。

皆さんの夢の実現をお手伝い



大阪桐蔭中学校・高等学校
校長 森山 信一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。「入学試験」という関門を突破して迎える春への思いはひとしおのことでしょう。今日から始まる3年間、また6年間は、皆さんの人生の基盤を形作る大切な日々となります。

大阪桐蔭は、皆さんが自分の可能性に気づき、その可能性を皆さん自身の夢の実現につなげていけるように、皆さんと共に歩んでいく学校です。勉学の充実と共に、運動や芸術でも多くの先輩たちが活躍しています。昨年の硬式野球部の甲子園での全国優勝はいまも記憶に新しいところです。

一つの体験を積み重ね、そこに必ず「学び」と「気づき」があります。そして、その体験が深ければ深いほど、次につながる段階もより高いものになります。日々の体験を大切にすることの意味はここにあります。新入生の皆さんが、勉学に、運動に、芸術に充実して過ごせるように、応援していきます。皆さんの若さあふれる活躍に期待しています。

先輩からのメッセージ

資格 取得者 から

私は1回生の時に「Yesプログラム」を取得しました。「Yesプログラム」は厚生労働省が推進する若年者就職基礎能力支援事業で、修了者には厚生労働大臣名の証明書が発行されます。「Yesプログラム」を受けている中では、良い先生とも知り合え、多くの友人ができました。



私がこの資格を取得したのは、資格そのものが目的ではなく、就職活動に向けた何かのきっかけになればいいと思ったからです。内容は週2

就職に向け「Yesプログラム」

回、5限目の授業が終わってから90分の講座を半年間にわたって受けるというものです。そして「Yesプログラム」を受けてみて今自分が置かれている状況が冷静にわかり自覚できるようになりました。できるだけ早く取得すれば将来について考える良いきっかけになります。今

もし世界中でつぶしのきく、あるいは将来性のある言語を習得したいなら英語か中国語を勧めます。ではなぜ将来性があるわけでもなく、国連公用語でもないドイツ語を続けているのかというと、実際に現地で短い間だが住んでみて、言葉や文化、そして人々が「自分にじっくりく」と感じたからです。

もちろん現代では、英語の第2言語としての学習者人口は群を抜いており、世界で一番重要な言語であるのは否定の余地がありません。しかし、それは文法のシンプルさや外来語への柔軟さから来る「妥協」の結果であり、英語圏だけが「世界」と決めつけてしまうのはもったいないと思います。別に英語のアンチではないので誤解しな

後は、「Yesプログラム」で得た知識や情報を生かして就職活動に役立てていきたいと思います。皆さんも就職に向けた取り組みとして早い時期から「Yesプログラム」を取得して、悔いの残らない学生生活を送ってください。

●資格取得は教育支援センターへ
(経営学科2回生 坂口健三)

交換留学 経験者 から

私は、2007年3月から1年間、ドイツのヴュルツブルク大学に交換留学生として留学させていただきました。この町はロマンチック街道のスタート地点に位置する町です。世界文化遺産に登録されたレジデンツをはじめ、歴史を思わせる建物や緑にも恵まれた美しいところ です。

ここでの生活で、日本と一番違うと感じた事は、時間の豊か



時間の豊かさを 感じたドイツ

そして何よりドイツでは、一歩ずつでも自分から進んでいかなければならないことを学びました。また、ドイツ人をはじめさまざまな国の学生たちと共に学び、かけがえのない友達に出会うことができました。

こういったチャンスをいただけた事を心から感謝しています。

●留学は国際交流課へ
(生活環境学科4回生 山田映子)

いでほしいです。要は未知の文化に対して畏れではなく、敬意を持つべきだということをお願いしたいのです。

よく「ガイジンは何を考えてるかよくわかんなくて怖い」といった意見を聞くが、いざ我々が外国でその「ガイジン」にな

未知の文化に敬意を持とう



学年末パーティーでの記念写真

ったとき、向こうも同じ事を考えています。中東欧を1カ月ほど、貯金が尽きるまでフラフラしてた

ことがあります。ただたどしいながらもせめて「地球の歩き方」に載っているあいさつだけでも現地語を使うことにより、現地の人から「少なくともこちらに悪意をもっていない」という信頼を得ることができることを発見しました。異文化コミュニケーションの本質はこの点にあるのだと思います。その後に何を思うかは貴方次第です。

●外国語はランゲージカフェへ
(経済学科3回生 西村卓也)

ランゲージ カフェを 利用して！

知ってトクする

学内便利MAP

学内には食堂、喫茶、コンビニ、ブックセンター、トラベルセンター、ATM機など多数の店舗が営業しています。学生生活に直接関係のある学生対応窓口と店舗をキャンパスマップとともに、簡単にご紹介します。食堂などの店舗は、営業日・時間が授業期間以外は変更になることがありますのでご注意ください。

q キャンティーン フタバ

➡ 本館地下1F

🕒 月～金 10:00～18:00
土 10:00～14:00

★ゆったりした広いスペースでくつろげるのが魅力

w 喫茶 四国

➡ 本館2F

🕒 月～土 8:30～17:00

★ボリューム満点の定食は男子学生の昼の定番

e ATM (三井住友銀行)

➡ 本館1F: 学生生活課前

🕒 月～金 9:00～19:00
土 9:00～17:00

★自動現金預払機

t OSUトラベルセンター

➡ 12号館1F

🕒 月～金 9:30～17:30
TEL.072-870-1601

★国内・海外の旅券、宿泊の発券と予約OK

y コンビナス

➡ 12号館1F

🕒 月～金 8:30～18:00
土 8:30～14:00

★手作り弁当が売っています

u 山口食堂

➡ 12号館1F

🕒 月～金 10:00～15:00
土 10:00～14:00

★リーズナブルな値段の定食メニューが豊富

i パウダールーム

➡ 9号館1F

o 学習支援センター

➡ 9号館1F

🕒 月～金 10:30～17:00

★数学・物理・化学と都市創造工学科専門科目に関する基礎知識の相談・サポート

! なんでも相談所

➡ 5号館1F

🕒 月～金 9:00～17:00

★大学の仕組みや、何かをやってみたいなど、学生のさまざまな質問・相談にお答えします

5号館

1F: 教育支援センター

(資格取得、プロジェクト共有等に関すること)

12号館

5F: 学生相談室

(心の悩み、対人関係、セクハラ等の相談を受け付けます)

本館 (11号館)

1F: 教務課

(授業、試験、学籍、授業料等に関すること)

1F: 学生生活課

(クラブ・サークル、奨学金、学生生活に関すること)

1F: 国際交流課

(留学・海外研修、留学生支援制度や生活相談に関すること)

2F: キャリアセンター

(就職活動、企業・求人情報、インターンシップに関すること)

r ランゲージカフェ

(2F: STUDY HALL)

➡ 本館と12号館の間

🕒 月～金 12:00～16:00

★お茶を飲みながら自由に外国語を話せるスペース

「フレッツ・スポット」 アクセスポイント

NTT西日本が提供する公衆無線LAN
接続サービスです。
問い合わせは、NTT西日本
TEL0120-066379

URL: <http://flets-w.com/spot/index.html>



！おくだ食堂

➡ クラブハウス1F

🕒 月～金 7:00～17:00
(朝食・7:00～8:45)

土 9:00～14:00

★リーズナブルな朝定食は一人暮らしの強い味方



！源' S cafe (ゲンズ カフェ)

➡ 15号館1F

🕒 月～金 7:00～21:00

土 7:00～15:00

★無添加・旬の食材を使ったヘルシー料理が自慢



！パウダールーム

➡ 15号館各フロア



@クリエイティブセンター

➡ 8号館2F 8201室

🕒 24時間利用可能

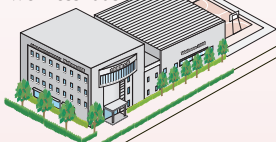


★プロジェクト活動やものづくり教室などの地域社会への支援活動を行っています

東部キャンパス



Wellness2008



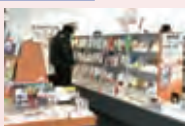
！大阪産業大学ブックセンター

➡ 16号館3F

🕒 月～金 10:00～17:30

土 10:00～14:00

★書籍、雑誌、文房具、製図用具、DVD等



！ローソン大阪産業大学店

➡ 16号館1F

🕒 月～金 8:00～21:00

★フライドフーズ充実



！タベルナ リモコンテ

➡ 16号館2F

🕒 月～金 11:00～14:00



！ひっぱりだこ

➡ 中央キャンパス総合体育館前

🕒 月～金 11:00～19:00

★待たずにアツアツ、電話オーダーもOK



！PHOTO SHOP

➡ 16号館1F

★証明写真が撮れます



！保健管理センター

➡ 16号館1F

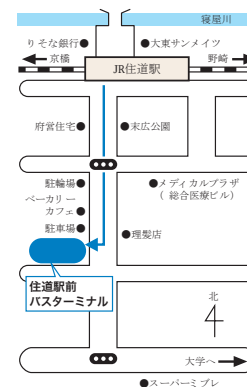
🕒 月～金 9:00～21:50

土 9:00～18:00



●大学シャトルバスについて

大学と住道間をシャトルバスが運行しています。ご利用に際しては、利用券(1枚50円)が必要です。利用券は本館1F経理課前自販機、ローソン大阪産業大学店、住道バスターミナルで販売しています。





「知の場」を 存分に活用しよう

—プロジェクト共育とは—

電光掲示板の表示は、時速105.95*。ギネス世界記録達成の瞬間だった。大産大が強力に押し進めるプロジェクト共育の成果が、具体的に姿を現した。学生たちの目には涙があふれ、我々はその姿を見て感動し、また大学の本当の宝物であると思った。プロでも製作は不可能といわれた3カ月という短期間で、学生たちは寝食を忘れて没頭した。市販の単3乾電池を約200本搭載して走る、重さ38*の超軽量カーボンファイバー製の車を作り上げての快挙だった。これこそが大学で机に座って受ける講義でなく、「答えの無い問題に果敢に挑戦する」プロジェクト型教育の神髄だ。当然、結果も大事だが、そこに至るまでに学生たちが「なぜ勉強するのか」という本質的な問いに、プロジェクトを遂行するなかで自然と答えが得られるシステムになった。なぜなら、軽くて丈夫な車を作るには、当然、力学や流体、電気など基礎知識が必要だからだ。車の未来はまだまだ続く。パソコンのようにパーツ組立てで車を自作できる時代もすぐそこまで来ている。

(副学長・山田修)

今年は、このようなプロジェクトが36テーマもある。ものづくりだけでなく環境問題に取り組むテーマや海外へ出かけての国際交流、あるいは留学生とのふれあいによる異文化体験などさまざま。将来の就職に向けての実力や、社会人基礎力といわれる自分で考える力、自分の考えを伝えるプレゼンテーション力、友達同士でのコミュニケーション力、おもしろいからやり抜

くんだという意志力も自然と養われる。学部学科を問わないし、何回生でも、いつからでも参加できる。「本学へ入学して良かった」ときっと思ってくれるはず。何もしなくて過ごす4年間か、多くの仲間と一緒に感動を分かち合うか……。それを決めるのは皆さん自身のちょっとした勇気。高校までと違う大学の「知の場」を思う存分、活用して下さい。

プラットホームへの挑戦

●鳥人間プロジェクト

学生代表者 菅 甫

(機械工学科3回生)

鳥人間プロジェクトは、毎年7月下旬に琵琶湖で行われる鳥人間コンテスト選手権大会の出場を目指して人力飛行機や滑空機を製作しています。コンテストには多くの大学や企業が参加しています。本学でも大空を飛んでみたい、飛ばしてみたいという思いから2006年にプロジェクトを立ち上げました。

プロジェクトでは飛行機的设计・製作やさまざまなものづくりの技術、運営方法を学ぶ事ができます。これまでは鳥人間コンテストの、人力プロペラ機部門への挑戦を目的としていましたが、今年は滑空機部門のフォーミュラクラスでの出場を目標としています。これまでに2度、書類選考で落ちているので、私たちにも比較的作りやすく、出場できる可能性が高いことから選択しました。機体は、水面効果を得られやすい低翼機と形状に特徴のある双胴機を選択しました＝イラスト。

1月に機体設計図を完成させましたが、今年のコンテストが休止となってしまいました。しかし来年は開催するそうなので、それに向けてこれからも活動に励んでゆきます。また、4月中旬には一度飛行機を完成させるつもりです。そこからテストフライトを行い、機体の完成度を高めて、来年は絶対にプラットホームに上がるぞ。



10年以内の挑戦を目指す

●ル・マンチャレンジプロジェクト

学生代表者 南 貴文

(交通機械工学科3年生)



ル・マンチャレンジプロジェクトは2009年開催の「十勝24時間耐久レース」への出場を第1ステップとし、10年以内にフランスで行われている「ル・マン24時間耐久レース」へ出場することを目指して活動を行っています。

08年はサーキットでの走行会への参加やスーパー耐久シリーズというレースイベントの見学、車両の整備を行ってきました。エンジンの取り外し＝写真左＝や各パーツの取り外し、ル・マンカーの

風洞模型の製作なども行いました。

09年は「十勝24時間耐久レース」に出場するための車両作りを行っていきます。燃料タンクの取り付け、タイヤ交換などの作業のために車両を持ち上げるエ



アージャッキの取り付けを行います。

ル・マンチャレンジプロジェクトは日ごろ体験できない自動車の分解作業やレース用パーツの取り付け＝写真右＝を行うことで技術力の向上を図り車の構造を詳しく知り、メンバー同士が役割を分担、相談し合います。スケジュールの決定や意見の標準化作業を行い、目的を実現するプロセスを大切にしています。車に興味がある人、みんなで何かしたい人は来てください。

分別ごみ箱の配置目指す

●3R推進マイスタープロジェクト

学生代表者 難波 衛

(生活環境学科4年生)



3R (Reduce, Reuse, Recycle) を大学で実現する、簡単にいうと、自分たちの力で大学のごみを減らすプロジェクトです。

現在、大学内には、建物の外においてあるごみ箱だけで423基あります。その中には、分別を装ったごみ箱もありますが、大学から排出される時点では分別されていません。また、ごみの量も計測されていませんが、私たちの推計では70

リのごみ袋で年間3万袋以上排出されています。

ごみを減らすためには、まずは分別して、缶やペットボトルは資源化 (Recycle) したい。でも、1万人以上いる学生や教職員 みなさんに分別の開始を伝えるためには、手段が必要だということで、分別ごみ箱を配置することを考えました。去年の7月に、学内でアンケートを取ったところ、回答してくださった学生や教職員の89%の方が、分別に協力をすると答えてくれました。また、どんなごみ箱が好ましいかを、実際にごみ箱を見て、選んでももらいました。分別した後の資源の保管場所や、再資源化ルートなどについても調査をしました。今年は、分別ごみ箱を学内に実際に設置できればいいと考えています＝写真は最終案 (合成写真)。

また、学内のごみだけではなく、生活から出る不用品の再使用 (Reuse) の仕

大産大から国際舞台へ

●日本代表養成プロジェクト

学生代表者 濱口 幹太

(スポーツ健康学科1年生)



スポーツ健康学科では、日本を代表する優秀なアスリートが入学しています。日本代表養成プロジェクトでは、こうしたアスリートが日本を代表して国際舞台に立てるように、教員と学生が共に力を合わせてアスリートを支援・育成していくことを目的としています。特に今年度は陸上競技部の高尾憲司選手＝写真 (右から2人目) ＝とバレーボール部の川口翔太郎選手に焦点を当て活動を展開して



います。

高尾選手は過去に日本代表として世界陸上へ出場していますが、自身の最終目標であるオリンピックには、あと一歩のところで故障のため出場できていません。しかし、最近は足の痛みもひき、順調にトレーニングを積んでいるようです。取り急ぎ今年の目標は、泉州国際マラソン上位入賞、そして全日本インカレ出場です。一方、川口選手はすでに全日本ユース代表や全日本ジュニア代表としてアジアユース選手権などに出場していますが、今年は全日本インカレ優勝、またユニバーシアード代表に向けてトレーニングに励んでいます。

組み作りも始めました。卒業時に不用になる生活用品を下級生に譲るネットワークを立ち上げ中です。S-mart (スマート) 活動というWebページ (<http://osu-smart.com/>) を見てください。ネット上だけでなく、実際に家具や家電の引き取りや配達もする予定です。



プロジェクト共育

2009年度プロジェクト共育テーマ一覧

ソーラーカー プロジェクト

高効率太陽電池モジュールを用いたソーラーカーを開発し、性能評価と環境問題に対する社会への啓発活動のため、国内外で開催される競技会やイベントに参加。

Electric Vehicle プロジェクト

現在ガライヤをEVに改造中。このほかにも小型EVを制作中。これらの車両を使った環境教育を小学校で行ってきた。

シルクロード横断 プロジェクト

2005年に中国西安から敦煌まで約2000*kmをEVとソーラーカーで横断し、環境問題を中国でアピールした。我々の夢は世界中に環境教育を行うこと。

燃料電池ビークル プロジェクト

フォーミュラ型燃料電池車を製作している。今年は、大阪府や国土交通省の協力のもと、ナンバープレートを取得して国内の公道で実証走行する予定。

旧車のレストア(復元・再生) プロジェクト

本学が所有するジャガーなど、旧車のレストア(復元・再生)をし、各種イベントでプレゼンテーションをする。

菜の花 プロジェクト

大阪府主催のBDF(バイオディーゼル燃料)利用社会実験に参加し、菜の花を育てBDFに精製後バスに供給。一連の活動は地元小学校への環境教育の一環として活用する。

学生フォーミュラ参戦 プロジェクト

社団法人自動車技術会主催の「全日本学生フォーミュラ大会」に参戦する。ものづくりの本質やそのプロセスを学び、創造性に満ちた技術者の育成を目指す。

ル・マンチャレンジ プロジェクト

ル・マン出場マシンを開発する。2009年開催の「十勝24時間耐久レース」出場と10年後には正規の「ル・マン24時間耐久レース」出場を目指す。

二輪車軽量フレーム製作 プロジェクト

軽量素材による新しい構造のオートバイのフレームを開発し、完成オートバイを使った実地検証を行う。また、安全運転講習会の開催も目指す。

温泉掘削 プロジェクト

本学は生駒山麓の近くにあり、ボーリングすれば温泉を掘り当てるかもしれないという恵まれた立地条件にある。学内で温泉掘削に挑戦する。

鳥人間 プロジェクト

琵琶湖で毎年開催されている「鳥人間コンテスト大会」への出場を目指す。2010年に開催予定の大会に向け、機体の設計、製作を進める。

OSU海外協力隊 プロジェクト

大学で学んだ知識を生かしてアジアでの国際協力活動を行う。フィリピンでゴミの分別などの環境啓蒙活動とエコランドやエコ簡易水道の建設を目指す。

燃焼合成ロケット プロジェクト

火薬取締法に抵触しない新推進薬を開発すると共に、容易に製作できて「いつでも、どこでも、簡単に飛ばせる」小型ロケットの開発を行う。

フランスで小型ロケット打上げ プロジェクト

小型実験ロケットと小型の観測用衛星を設計製作し、フランスのロケットコンテストに出場する。ロケットの製作は宇宙クラブ関西の指導と協力を得て行う。

飛行ロボット プロジェクト

ラジコンの模型飛行機や飛行船を設計・製作し、日本航空宇宙学会主催の「全日本学生室内飛行ロボットコンテスト」への出場を目指す。

歩行ロボット プロジェクト

基礎編:2足歩行ロボットを初歩から学び、大学祭でサッカーのリーグ戦開催を目指す。応用編:2足歩行ロボットを開発し、ロボット格闘技大会への出場を目指す。

アナウンス共育 プロジェクト

学祭やオープンキャンパスに向けて、アナウンサーや記者、そして番組を仕切るディレクターを養成する。元NHKアナウンサーの森客員教授が指導する。

OSUプラネタリウム プロジェクト

プラネタリウムを研究し、製作を目指す。地域の小中高生等を対象に投影会を開催する。物理学や天文学の勉強のほか、必要な情報収集をする。

3D CADで「ものづくり」 プロジェクト

産業界で広く使われている3次元CADソフト「CATIA(キャティア)」の操作技術を習得し自由な発想で「ものづくり」をしませんか!

3R推進マイスター プロジェクト

学内外のごみを3R(Reduce, Reuse, Recycle)するプロジェクト。分別されずに廃棄される学内のごみを資源化する。卒業生の家具を後輩にひきつぐ、S-mart活動も始めた。

バリアフリーデザイン プロジェクト

身体障がい者とともに地域コミュニティの形成をはかり、新しい車椅子などを開発し、バリアフリー展への出品や、ソーシャルネットワーク構築やビジネス展開を目指す。

国際なかま プロジェクト

留学生や日本人学生、教職員が「国際なかま」として集い、交流会、スポーツ、イベント、行楽などを通じ、互いの文化、伝統、言葉をつなぐ、学生生活をより豊かにする。

日本代表養成 プロジェクト

本学学生のアスリートが日本を代表して国際舞台に立てるように、教員と学生が力を合わせサポートする。将来の指導者として基礎知識や技能を高める。

学生力強化 プロジェクト

1泊2日での徹底討論、ブレインストーミングなどを駆使し、本音の討論の重要性、創造性の発見、コンセプトの導出の手法を学び、社会人基礎力を育成する。

プロジェクト成果発表会 プロジェクト

各プロジェクトの活動と成果の集大成として、成果発表会を企画・開催する。イベントの企画運営のプロセスを学び、プレゼンテーション能力を身につける。

森・川・田んぼ プロジェクト

自然林の保全、林業体験、田んぼや河川の生態系調査を行い、自然・地域・人をつなぐ環境を学び、地域固有の生態系再生を通じて、人間力と専門性を高める。

ニュース記者体験 プロジェクト

学園広報誌「NeOSU」の学生編集部として、紙面発行の企画・取材・編集に携わる。このニュース記者としての活動を通して、社会人基礎力を身につける。

ワールド・ソーラー・チャレンジ参戦プロジェクト

環境ビークル系のプロジェクト成果発表として、国内の競技やイベントへの参加とオーストラリア大陸で開催されるワールド・ソーラー・チャレンジへの参戦を行う。

世界的に著名な建築家と勉強しようプロジェクト

海外名門大学で建築デザインを学ぶ。世界的な建築家を招聘し、レクチャーやワークショップを開催。世界トップクラスの建築デザインを体感し、専門性を覚醒させる。

アーティスト育成 プロジェクト

大学発のアーティストのデビューをオーディションで発掘し、レコーディング、プロモーション活動を学生の手で行う。

産大スポーツ応援 プロジェクト

活発なクラブ活動の情報(大会情報、試合結果等)をさまざまな応援ツールで収集・発信できる学内ネットワークを構築し、スポーツを通して大学を活性化化する。

快速キャンパスライフサポートプロジェクト

学生の心身ともに健康な生活を支える情報を伝える手段やコミュニケーションの場を提供し、大学を活性化できるwebシステム(StartUP)を構築・運営する。

エコ推進 プロジェクト

緑化や清掃・美化活動を通じて、緑あふれる美しいキャンパスづくりを進める。学内および地域への環境啓発活動を通じ、大学ならではの社会貢献を目指す。

新エネルギービークル プロジェクト

脱化石燃料・新エネルギー利用など21世紀のモータリゼーションを社会に発信。新エネルギービークルを製作し、環境問題の普及啓発活動を加速させる。

エンターテインメント・ビジネスを探究するプロジェクト

エンターテインメント・ビジネスとはなにか?をテーマに実地調査・web調査・分析を行う。

オフロード車製作 プロジェクト

バリダカ参戦車両をベースに整備改修し、国内での耐久レースにバイオフェューエル燃料で参戦する。

キャリアセンターから



学内合同企業説明会



企業研究に熱心な学生たち

2009年3月卒業生の就職は、企業の求人倍率が2.14倍と前年度とほぼ同じ状況で通信事業関係、製造業、飲食業などが採用人数の増加により始まりました。企業の求人倍率から考えれば、学生の売り手市場は継続され、学生にとっては非常に有利な状況でありました。しかしながら後半の秋以降は、世界の金融危機による景気の悪化により派遣社員切りなど、不安なニュースが新聞やTVで報道されました。景気回復の兆しについては、色々な意見がありますが、予想し難い状況であることは間違いないものと考えます。

本学への求人数は、5256件（2月1日現在）と昨年度と比べ若干減少しました。減少の理由は、金融危機の影響を受けて秋の募集で採用計画を保留されたためではないかと考えております。

今後の企業の採用への見通しについて

2010年3月卒業生への企業の採用状況は、金融危機の影響を受け、業種に関係なく厳しいのではないかと多くの方が思われていることでしょう。世界の金融危機はだれもが想像できなかった程、大きく経済不況をもたらしていることは間違いありません。

現時点で10年3月卒業生に対する企業の採用の見通しとしては「増える」が8.3%、「減る」が15.7%、「変わらない」が50.6%となっています（㈱リクルートワークス研究所調べ）。

企業の採用活動は、景気の動向に左右されますので無責任なことは言えませんが、10年3月卒業生の就職活動については、「あまり景気が悪くて就職先がないのではないか」など、周囲の情報に惑わされることのないように注意していただきたいと考えております。現在、大学に多くの企業が求人に来られております。お話をお聞きますと、企業として社会に貢献できるように努力するとともに、新規採用も会社の使命と考え採用を継続していますと答えられる企業もあります。また、今まで採用できていなかった分をチャンスととらえて、採用活動を継続するとの企業も多くあります。

就職活動に向けて必要なことについて

就職は、自分の将来を考える上で非常に重要であり、就職はしなければならない、と自分に言い聞かせ、卒業と就職先を決めることが、この1年間の目的として、勉強

就職活動に向けての 取り組みと 就職の現状について

に取り組んでいただきたいと思います。

まずは、行動することが重要です。就職活動は、活動を開始するタイミングによっては大きく変わりますので就職に関するアンテナを張り巡らし、多くの情報を入手していただきたいと思います。履歴書は作成されましたか？ 履歴書の自己PRは自分を知ることからはじまります。自分の強みや弱点をよく見つめた上で、自分を一番わかってもらえる、想像してもらえる事柄を具体的に説明することです。

自己分析ができて、エントリーする企業情報を知らなければ、面接を受けても自己アピールのみではうまくいきません。相手企業がどのような人材を求めているのかに対して「自分はこの企業に就職したい」との熱意が伝えられているのか、チェックしていただきたい。自己PRなど就職活動は、今まで経験していないことが多く、とまどい、不安になるかも知れません。そういうときは、自分一人で就職活動するのではなく、どのようなことでもキャリアセンターに相談してください。皆さんの就職活動がよりスムーズに進められるために、キャリアセンターがありますので大いに利用してください。そして満足のいく結果を求めていただけるように、キャリアセンターも一生懸命支援いたします。



模擬面接



学内上場企業セミナー開始を待つ学生



大阪産業大学・同短期大学部
学長 籠谷正則

同志として共に歩もう —卒業生の皆さんへ—

卒業生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。

厳正な審査のもと、皆さんが学位を授与され、本学を巣立つことは、時には悩み苦しみ、時には笑い涙もしながら、懸命に頑張ってきた皆さん自身の努力の賜物にほかなりません。皆さんは何よりも、まずそのことを誇りとし、胸を張って社会への第一歩を踏み出してください。また同時に、ここに至るまでの皆さんの生活や学業を支援していただいたご家族、友人、恩師などの周囲の人々の存在を改めて思い起こし、感謝の気持ちを忘れないでいただきたいと思います。

これから社会人となる皆さんと私は、自分を高め社会の発展と向上を目指す、言わば同志の間柄です。しかも、大阪産業大学という素晴らしい組織につながり、強い絆で結ばれた得がたい同志です。「偉大なる平凡人たれ」という建学の精神を噛みしめ、肩の力を抜きつつも、それぞれの立場で切磋琢磨しようではありませんか。そして、これからは卒業生として、母校をより良くするために力を貸してください。皆さんの前途に大いに期待するとともに、私も一層の奮闘を誓い、お祝いの言葉と致します。ともに頑張りましょう。

大阪産業大学附属高校
平成20年度卒業式（第61回）

希望に満ちて545人 新たな旅立ち

大阪産業大学附属高校の平成20年度（第61回）卒業証書授与式が1月31日、同校体育館で行われ、545人が懐かしい思い出と希望を胸に巣立っていった。

式では、校歌斉唱、学事報告に続き、卒業生総代の太田悠人君（普通科進学）へ卒業証書が授与され、表彰状、賞状の授与が行われた後、平岡伸一郎校長が式辞を述べた。

平岡校長は「今日の皆さんがあるのは、周りにいる多くの皆様のお陰です。『ありがとう』という感謝の心を忘れないで下さい。この3年あるいは6年間の経験

と思い出は皆さんが今後生きていく上で財産です。それぞれの進路で『産大附属、ここにあり』という気概を発揮して下さい。『偉大なる平凡人たれ』の精神です」と激励した。

この後、来賓紹介、祝電披露、在校生代表の水野奈美さん（国際科進学2年）の送辞、卒業生を代表して木岡拓也君（国際科特進）の答辞、西光亜弥さん（国際科進学）の卒業記念品目録贈呈、卒業生保護者代表の古和田孝子さんから謝辞があり、閉式となった。



学外から表彰を受けた生徒

- ◆大阪府知事賞
太田悠人（普通科進学）
- ◆日本私立中学高等学校連合会賞
杉村涼（普通科進学）
- ◆大阪私立中学校高等学校連合会賞
六釜安祐実（普通科特進）

大阪桐蔭高校

平成20年度（第21回・24期生）卒業式

思い出胸に704人が巣立つ

大阪桐蔭高校の平成20年度（第21回・24期生）卒業式が1月24日、大学総合体育館で挙行政され、女子生徒277人を含む704人が高校生活での思い出を胸に巣立っていった。

式は来賓のほか、学園役員や多数の保護者と在校生徒全員が出席。国歌と校歌の斉唱に続いて卒業証書が授与された。

森山信一校長は「第24期生の諸君、卒業おめでとう。諸君がときに立ち止まり、自分の人生について考え直す時、

『身の内の財』を蓄え、その財を以って人生の難局を乗り越えて欲しいと願っています。『先を憂えることなく今この時に最善を尽くせ』この言葉を諸君へのはなむけの言葉とします」と式辞を述べた。

この後、来賓紹介に続き、岡本日出士・大東市長が祝辞を述べ、卒業生からの記念品目録贈呈、在校生代表の重松翔平さんの送辞、卒業生代表の中坊柚季那さんの答辞、保護者を代表し桐友会の新沖真由美さんの謝辞があり、吹奏楽部の



演奏で「仰げば尊し」と「蛍の光」を斉唱し、厳粛のうちに閉式となった。

学外から表彰を受けた生徒

- ◆大阪府知事賞
先山 雅規（1類A1組）
- ◆日本私立中学高等学校連合会賞
石原 由貴（1類A1組）
- ◆大阪私立中学校高等学校連合会賞
島本 拓和（1類A2組）
- ◆学校茶道奨励証
飯田 そのか（1類A2組）ほか7人



大阪産業大学附属歯科衛生士学院専門学校の平成20年度卒業式が2月19日、大学本館1階多目的ホールで行われ、第25期生（専門学校22期）66人が希望を胸に、歯科医療奉仕の道を求めて巣立った。歯科学院は、平成21年4月に予定されている学校法人平成医療学園への経営移管のため、最後の卒業式となった。

式は、学事報告に次いで淵端孟校長が卒業生全員に卒業証書を手渡し、学内外からの各賞を授与し式辞を述べた。淵端校長は「第25期生66人の皆さん、卒業おめでとうございます。教職員一同心からお祝い致します。今年の卒業式は私たち教職員にとりまして特別な感慨を持って出席しています。既にご承知の通り本校は3月31日をもちまして創立以来満26年の歴史を閉じる事になり、今回

が最後の卒業生を送る日になるからです。1983年4月8日に初の入学式を挙行政し、今回卒業される66人の皆さんを加えて卒業生は総計1448人となります。来月早々の国家試験に合格し、口腔保健を担うプロとして大いに活躍していただかなければなりません。医学を基盤に成り立っている医療には、論理に基づく科学以外に、欠かせないのは経験や、医療を行う人と患者の相互信頼に基づく人間関係なのです。皆さんがこの2年間に学んだ医療従事者としてのマナーや心掛けも、専門的知識と同様に大変重要なものであります。今後は患者さんやその家族、一緒に働く同僚との対人関係を大切にしながら、同時に実務のかたわら積んでゆく経験を、学校で学んだ基礎的な専門知識に加えて、患者さんや同僚から愛される素晴らしいエキスパートハイジニストになって下さい。人々の健康な生活とその

最後の卒業式で66人 歯科医療奉仕の道へ

附属歯科学院専門学校

質の向上にとって口腔保健は欠かす事の出来ないもので、その担い手となる歯科衛生士の役割は極めて重要であり、今後ますます大きくなってゆく事でしょう」と卒業生を励ました。

その後、出席者紹介、祝電披露、同窓会副会長・工岡かおりさんからの花束贈呈、卒業記念品の目録贈呈に続き、在校生を代表して、齊藤寿美礼さんの送辞、卒業生を代表して戸田翔子さんの答辞があり、厳粛のうちに閉式した。

学外から表彰を受けた生徒

- ◆大阪府知事賞
高 日淑
- ◆日本歯科衛生士会会長賞
西里 佳織
- ◆大阪府歯科衛生士会会長奨励賞
湯本 涼子
- ◆大阪府専修学校各種学校連合会名誉会長賞
藤澤 梓
- ◆専修学校教育振興会賞
谷田 美佳



ものづくりプロジェクトの一環として設置されたクリエイトセンターが7年目を迎えた。設備や要員も充実して大学にとって不可欠な存在に成長。昨年は工学部以外のスタッフも加わり、全学的な組織として飛躍をとげた。設立からのあゆみを振り返った。

★ クリエイトセンターの歴史

クリエイトセンターは、ものづくりを行う学生に機械と技術を提供する施設として2002年に設立された。民間技術者

出身の教員や先輩学生から手とり足とり技術を教えてもらい、24時間加工機械が自由に使える場所として学生たちに利用されるようになった。研究や勉強でものづくりをする時、センターは最も身近で便利だ。04年には文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択され、大産大の名声を高めた。同プログラム採択が、現在の「プロジェクト共育」の設置につながった。06年には難関と言われる国の技能検定2級に学生スタッフの工学部3回生が合格。大きな成果だった。

★ 知識や技術を大きく伸ばせた

設立初期時にスタッフとなり、6年間

クリエイトセンターで活躍した大学院工学研究科アントレプレナー専攻2回生の松井優さんに聞いた。

——クリエイトセンターとの関係は

私が入学した03年度に、プロジェクトを立ち上げて活動を開始しました。

——スタッフになったきっかけを教えてください

私の入学年度は閑散としたものでした。センターの利用者は少なく、先生すら誰もいない状況でした。そこで私は、ボランティアでスタッフ活動を始めます。卒業研究のための利用者が多く、工作機械などの取り扱い説明をするなか、私は数多くのことを学びました。

——スタッフとして頑張った事はなんですか

「共育」の原点 ここにあり

第一回ものづくり教室



開設当時は学生のものづくりを支援する施設を大学内につくること自体が全国でもとても珍しく、新しい試みでした。しかし、プロジェクトに参加しようという学生は少ないのが現状でした。私たち学生にも何かできることがある、ものづくりの仲間を増やしたいと感じ、スタッフ活動を通じて、活動者の募集や学生の技能育成を目指しました。

——センターに今後何を望みますか

学内における学生のものづくりの拠点として発展し続けてきました。同時に私のものづくりの技術や知識を大きく伸ばすこともできました。私は修了しますが、後輩たちもプロジェクトを通じて、チームワークよく社会人となる基礎力を身につけてほしいと思います。

●聞き手

情報システム工学科2回生 足立大地

- 02年6月17日 クリエイト センター設立。
- 03年 学長の直下組織に。
- 04年4月 学生スタッフが誕生。
- 04年7月19日 小学生を対象としたものづくり教室を初開催。これを機に夏休みと学園祭で開催が毎年恒例となる。
- 04年7月30日 文科省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択される。
- 05年4月6日 NHKが大産大が取り上げられ、センターも取材を受ける。
- 05年10月11日 リニューアルオープン。
- 06年6月22日 大産大でわいわいミーティング開催。太田房江知事（当時）がセンターを見学。
- 07年8月4日 センターを基盤としたパナソニックと本学の産学連携、「オキシライドプロジェクト」が成功。ギネス記録として掲載される。
- 08年 他学部の学生スタッフを増員。

ク リ エ イ ト
セ ン タ ー の
歴 史

10分の1電動ツーリングカー全日本選手権

エキスパート クラスで 優勝

短期大学部1回生 児玉裕紀子さん

茨城県つくば市の谷田部アリーナで2008年9月26～28日に開催された「10分の1電動ツーリングカー全日本選手権エキスパートクラス」で短期大学部自動車工学科の1回生児玉裕紀子さん（淀川工業高校卒）が完全優勝を果たしました。ところで「電動ツーリングカー」って？ 児玉さんに根掘り葉掘りたずねてみました。



08年全日本選手権は、各地区から選出された41人が参加、予選ラウンドは6レース行われ、上位10人が決勝レースに進めるシステム。児玉さんは予選6レースすべてトップの1位通過。決勝の第2レースは、スタート直後の混乱で児玉さんが2位以下に大差をつけて独走。周回ごとに差を広げトップでゴールして20ポイントを獲得。第3レースを待たずに予選からの完全優勝を果たした。

10分の1電動ツーリングカーってどんなもの？ 市販4ドアセダンの10分の1のスケールモデルで、4輪駆動のラジコンカーのことです。緊張しながらレースに出るのが何よりも魅力です。

始めたきっかけは？ 幼いときからものづくりが好きで、ミニ四駆がはやっていてよく遊んでいました。小学3年の時に、両親と妹の一家4人でラジコンカーを始めました。その年、海遊館の広場で開催されたタミヤ主催のレースに出場したのですが最下位でした。

1年後には、子供だけのクラスで優勝。中学1年の時にタミヤ主催の世界戦に選ばれ出場しましたが最悪の結果でした。ツーリングカーを始めて10年になります。06年は全日本スポーツマンクラスで2位、07年はエキスパートクラス3位、08年はエキスパートクラスで優勝です。

ツーリングカーの難しさは？

横幅70センチぐらいの場所にコースを作り、1周13秒前後で周回します。トップタイムをどれだけ維持して周回するかが難しい。1周0.1秒遅れると10周すれば1秒違ってくる。1秒遅れれば話にならないほどの差がつくんです。トップタイムを出せるラインをいかに守って走るのが勝敗を決めます。1レースは5分とか8分のレースなので集中力の勝負です。パイロンやコーナーの入り方、出方の技術は身に付いてるんですが、意外とストレートが難しい。スピードを上げ過ぎるとコーナーでふくらんでしまう。マシンのトップスピードは100km/hを超えるけど、70km/h前後で抑えて走らないと速いラインが取れないんです。

前のマシンを抜くときは？

コーナーで抜くのは難しいし、直線も短いし、なかなか抜けないんです。でも意外と簡単な方法があって、前の車を突っついて焦らすのが一番。焦らせてミスらせるんです。自分がミスるときは集中力の切れたときで「腕がだるい」なんて



マシンを操作する児玉さん

思うとミスる。

どんな練習をするの？

大会前になると3日ほど詰めて、朝10時から夜9時ごろまで練習しています。30分に1回、5分ほど走るんです。それ以外はマシンのセッティングや電池の交換、タイヤをウォーマーで60度くらいまで暖めて数分間冷やし路面の接地を良くするといった作業。この準備が25分くらい、下手をすると充電が間に合わないこともあります。トップタイムでどれだけ正確に同じコースを周回できるか、感覚を磨くしかないんです。

経費もかかるのでは？

タイヤなどの消耗品代もバカになりません。09年からはYOKOMOのワークスに移籍することが決まっています。現在も無線機のFUTABAさんや数社にサポートを受けています。今回の全日本選手権はYOKOMOさんのマシンを使っていたので、宿泊費のサポートを受けました。

将来はどうするの？

卒業後は、YOKOMOさんでマシンの設計をしたいと考えています。自動車の足回りのことを勉強したくて短大に入学したんです。高校時代に旋盤資格を取ったし、今からは溶接などの資格も取りたい。09年の全日本選手権の日程が決まってないんですが、スーパーエキスパートクラスの予選会に出たいのと、海外で開催されるレースにも出てみたいけど、実習を休めないしどうなるか……。

●聞き手

情報システム工学科2回生 佐伯郷



産大高との高大連携体験学習を実施

●大産大附属高校の普通科進学、国際科進学コースの1年生を対象とした、大産大体験学習が昨年12月15～18日に実施された。

この体験学習は、高校1年生に大学でどのような授業が行われているのか、今後の

進路の方向性を考えてもらうことが目的で実施された。1日2クラス、計8クラス311人が参加。文化コミュニケーション学科や経営学部観光ビジネスコース、会計士コース、アパレル産業コース、都市創造工学科、電子情報通信工学科、クリエイティブセンター、プロジェクト共育などを見学した。

参加した梶本大輔さんは「大学でどのようなことを学び、何を目的に勉強していくかなど理解することができました。



高校1年の段階で良い経験になりました」。山岡千凡さんは「アパレル産業コースの話を聞き、物を見てすごく楽しそうなコースと思いました。こういう勉強も良いなと思いました。今回すごく良い体験ができ、将来のあり方について学べた気がします」と感想を述べた。



●ランゲージカフェの学年末パーティが1月31日、同カフェで開催された。日ごろカフェを利用して、ネイティブスピーカーと会話している一般学生や留学生が集い約3時間にわたって交流を深めた。

齊藤日出治副学長は「ネイティブの先生方、1年間ありがとうございました。ラ

世界中に友達つくろう

ランゲージカフェ学年末パーティ開催

ランゲージカフェは、会話能力を鍛えるという意味で重視されていますし、異文化を知る意味でも重要です。留学生と日本人学生の交流の場にもなっています。ネイティブの先生と利用者、教職員と和やかな懇談を楽しんでください」とあいさつした。

ネイティブの講師紹介とあいさつがあり、乾杯してパーティは始まった。あいさつでは「私の日本語は下手でしょう。でも意味は理解できるでしょう。それが大切なんです。若い人といろんな話を話すのが好きです」と話した。

参加学生のスピーチでは、覚えてたの言語で心境を紹介したり、日本人学生がドイツ語でスピーチし、タイからの留学生が日本語に翻訳するペアもいた。また、中国の協定校へ1年間交換留学する学生が流暢な中国語でスピーチした。その後ビンゴゲームが行われ景品に一喜一憂していた。パーティは終始和やかな雰囲気の中で情報交換や意見交換が行われた。今回のパーティの進行役は、国際なかまプロジェクトのメンバーが協力して務めた。また参加留学生が自国の手作り料理やお菓子を持参するなどした。



高校・大学接続教育支援プログラムスタート

●大産大附属高校から、本学に入学してくる生徒を対象とした、高校・大学接続支援プログラムが2月6日スタートした。

自分の実力を知る確認テストが2月6日と3月17日に、大学の講義を体験する先取り講義が2月7日と28日に、進学する学部などでクラス分けをしておけるe-ラーニング学習が2月9日から3月13日まで週2日（全10回）、修了式が3月17日に実施される。

2月7日の先取り講義は、教育支援センターの宮久保雅行助手が、大学生活について体験談を交えて講演し、その後アイデア発想法の一つであるブレインストーミング法を使い、1グループ6人程度に分かれ、入学後何をしたいかをテーマに約1時間、実習を行った。実習の最後には各班の代表者がまとめたアイデアなどを紹介、感想などを披



露した。

このプログラムは株式会社ベネッセコーポレーションと本学が共同で開発を進めている。



後半逆転 悲願のAリーグ昇格 創部41年目で初

大産大ラグビー部

●大産大ラグビー部は、昨年12月13日、京都市の宝ヶ池球技場で行われた、関西大学ラグビーリーグA-B入れ替え戦に4年連続で挑戦した。Aリーグ7位の近畿大との試合は接戦となったが24-17で勝利し、見事創部41年目で初のAリーグ昇格を果たした。

試合は、開始12分に近畿大にトライを決められ先制を許す。24分にもトライを決められ10-0と点差を広げられた。本学は38分にゴール前の5人スクラムからタウモエピアウ選手が右中間にトライを決め反撃したが、近畿大に41分、トライとゴールを決められ5-17で前半は終了。

後半7分、相手ゴール前35mの中央ラックから大友選手のパスを受けた児玉選手がキック、これを岩田選手がインゴールの右

スマで抑えてトライを決め、末崎選手のキックも成功して12-17と追いつき、攻撃のリズムに乗った。16分、ゴール前右のラックからタウモエピアウ選手が持ち出し右中間にトライを決め同点。29分には、ゴール前22mの中央ラックから大友選手、高田選手とつないで中央にトライ。末崎選手のキックも決まり24-17と逆転し、このまま逃げ切った。

柳隆史監督は「4年連続で入れ替え戦に

出て、しかも3度が近畿大との対戦。三度目の正直、1年間このためにやってきた。『ここで倒さないと男やない』と言った。後半2本取れば逆転できると思った。10分までに1本取れたのが大きかった。接点で相手より先に激しく当たる練習をしてきた。Aリーグに立つことが目標じゃなく、勝つことを目標にしたい」と話した。

入れ替え戦勝利で1部復帰

大産大男子ラクロス部

●男子ラクロス部は昨年8月16日、長居球技場他で始まった「第19回関西学生ラクロスリーグ戦」の2部リーグで5勝2敗の3位となり、1・2部入れ替え戦の権利を獲得。11月23日、舞洲運動広場で1部リーグ6位の佛教大と対戦し11-9で勝利して、1シーズンで1部復帰を果たした。



藤田誠仁主将は「全勝優勝そして1部昇格を目標に始まったチーム。しかし、リーグ戦の序盤3戦で1勝2敗。このままいけば降格の危機だった。そこからチーム一丸となり怒涛の4連勝。2部3位で何とか入れ替え戦へ進出した。相手は佛教大、本当にしんどい試合だったが、楽しい最高の試合になった。最後のホイッスルが鳴った瞬間、うれしさのあまり涙があふれた。最高の仲間とともに闘えたことを誇りに思う」と話した。

◇大産大の2部リーグ戦戦績◇
(8・11～11・24、宝ヶ池球技場他)

- 4-11 龍谷大
- 11-6 大阪経済大
- 16-8 大阪学院大
- 8-6 大阪大
- 3-10 甲南大
- 9-3 神戸学院大
- 12-4 大阪市立大

◇1・2部入れ替え戦◇
(11・23、舞洲運動広場)

- 11-9 佛教大

開田投手が全日本学連男子 NZ遠征選抜メンバー入り

大産大ソフトボール部

●大産大ソフトボール部の経営学科3年生・開田卓人選手(投手)が昨年12月5日、2009全日本学連男子NZ遠征選抜メンバーに投手として選出された。

選抜されたのは全国で22選手。開田選手は関西学生秋季1部リーグで、5試合28イニングに登板して4勝1敗、失点4、防御率1.00、打率2割8分6厘、打点6の好成績が評価されて選ばれた。全日本学連メンバーは2月12日から22日まで、ニュージーランドに遠征し10試合を行った。

なお10月13日から11月29日に行われた関西学生秋季1部リーグ戦で本学は、同志社大、京都産業大とともに4勝1敗の勝ち点12で並んだが、得失点差で3位となった。

◇大産大の秋季リーグ戦戦績◇

- 1-0 立命館大
- 7-0 兵庫教育大
- 2-1 同志社大
- 1-3 京産大
- 12-3 大経法大

また8月29日から9月1日に第43回全日本大学男子選手権大会が、宮城県東松島市の鷹来の森運動公園で行われ、ベスト16入りを果たした。

- 1回戦 ○ 2-0 広島経済大
- 2回戦 ● 0-4 中京大



府アンサンブル コンテストで金賞

大産大吹奏楽部



●大産大吹奏楽部は昨年12月21日、大阪府立青少年会館文化ホールで行われた、第35回大阪府アンサンブルコンテストの大学の部で金賞を獲得、第35回関西アンサンブルコンテストの大阪府代表に選出された。

受賞したメンバーは伊藤康宏さん（経営2回）、志水莉紗さん（経済1回）、中村圭孝さん（交機1回）でサクソフォン三重奏。曲はパッション（高橋伸哉作曲）だった。

関西アンサンブルコンテストは2月11日に奈良県文化会館で行われ、本学は銀賞を獲得した。

雇用はどうなる？ —世界金融恐慌の大波—

経済学部主催で講演会開催

●大産大経済学部主催の講演会「雇用はどうなる？—世界金融恐慌の大波—」が、昨年12月17日、大学多目的ホールで開催され、学生、教員に加え一般市民など約300人が聴講した。

講演は経済学部の本山美彦教授の「金融危機のいま—なぜ株価は暴落するのか?—」と日本総合研究所調査部ビジネス戦略センター所長、山田久主席研究員の「激動する雇用—恐慌はくるのか?—」の2部構成。本山教授は、なぜ金融危機が発生したのか、米国ビッグ3になぜ米国政府が巨額の資金援助をしなければならないのかや、資金援助をしなければ世界経済が破綻する理由を分かりやすく解説した。

山田主席研究員は「日本は格差社会になってきた。正規社員と非正規社員の役割、非正規社員の解雇に絡み、日本企業や先進国は生産調整を行ってきたが、途上国では生産調整が難しい。医療・介護・観光・農業など新しい産業をどうやって育成していくのか、政府、労働組合、企業が丸となって方針を出し、転換していかなければならない。そうすれば恐慌が来ても怖くない」と説明。会場からは、「資本の行き先がなかったのか、なぜ投資銀行に流れたのか」「埋蔵金という言葉を聞くが、説明してほしい」「百年に一度の恐慌と話をされたが、恐慌とは何をさすのか」など活発な質問が出された。



本山教授（左）と山田主席研究員

関西スポーツ賞を受賞

大阪桐蔭高校野球部

●大阪桐蔭高校硬式野球部は1月14日、関西運動記者クラブが選ぶ08年度第52回関西スポーツ賞団体の部に選ばれ、同月19日に大阪市内のホテルで表彰式が行われた。

同賞は他に、団体の部として女子ハンドボールで史上初の2年連続高校3冠を達成した洛北高、個人の部として北京五輪で日本フェンシング史上初となるメダル（銀）を獲得した太田雄貴選手、陸上男子四百メートルで日本トラック界80年ぶりのメダル（銅）獲得に貢献した朝原宣治選手が選出された。特別賞にサッカーのアジアチャンピオンズリーグを初制覇したガンバ大阪、特別功労賞にサッカー日本代表で活躍した森島寛晃選手（セレッソ大阪）も選ばれている。

大阪桐蔭高は昨夏の第90回全国高校野球選手権大会で17年ぶり2度目の優勝を果たしたことが評価された。



表彰を受けた西谷監督（左から2人目）と有友部長（左端）

世界的建築家トゥメルテキン氏 建築・環境デザイン学科主催で講演会

●世界的に活躍中の建築家、ハン・トゥメルテキン氏の講演会「現代建築批評—近作について—」が、昨年12月9日午後6時から約1時間半にわたって16号館16606教室で行われた。

トゥメルテキン氏は、1958年トルコ・イスタンブール生まれ。88年にイスタンブール大学大学院を修了。86年に自身の事務所を開き、04年にアガ・カーン賞を受賞。06年から米国・ハーバード大学大学院で客員教授を務めている。



講演に先立ち、建築・環境デザイン学科主任の吉田淳一教授が「本日の講演では、皆さんにとって良い話が聞けるとと思いますので、ぜひ何かをつかんで自分のものにしていただきたいと思います」とあいさつ。同学科の山口隆教授がトゥメルテキン氏の紹介をし、講演会が始まった。

トゥメルテキン氏は、自身の建築作品についてプレゼンソフトを使い解説を加えながら次々と紹介。各作品が持つ独自性をわかりやすく説明し、建築の中での古いものと新しいものととの融合について、自身の考えを述べた。講演後の質問で、日本の建築についての感想を求められると、「大変好意をもっており、関心が深い」などと答えた。講演会には教職員、学生など約150人が聴き入った。

クラブ活動の記録

大産大

■アーチェリー部

○第13回関西学生アーチェリーインドア選手権大会(12・6～7阪大吹田キャンパス体育館)小林亮介(都市環3)、柳英雄(機械3)、辻竜二(電子3)、内浦みゆき(建築3)、大野航太(機械2)、豊田光昭(経営2)、テオ・シューイン(生活2)、中村みほ(経営2)、山口貴之(機械2)、山田悠貴(機械1)、松井聡之(情報1)、浦田真衣(経営2)、稲田大輔(情報4)、和田圭介(情報1)、竹中貴浩(流通1)、小林英隆(経済3)、席定剛嗣(機械3)が出場、決勝進出し。

■合気道部

○第15回杖道全国大会(11・9東大阪市立東体育館)個人戦一級以下の部3位 魏明林(生活2)

■アメリカンフットボール部

○第19回VARSITY BOWL(東西Div2オールスター戦:12・20大阪市長居球技場)QB康秀斗(国際4)、RB木村亮(経済4)、DB辻篤志(文化4)、LD三浦勇貴(経営4)、OL柿木孝之(経済4)、OL金沢佑太(経済4)、OL山田敏晃(経営4)、OL山田敏弘(経営4)、MG山口和斗(経済4)が関西学生に選抜。関西Div2 16-0 関東Div2

○えびすBOWL(1・10王子スタジアム)関西学生Div1～3 ALL starにDB辻が選抜され社会人ALL starと対戦。

■空手道部

○第52回全日本大学空手道選手権大会(11・23 日本武道館)団体ベスト16=1回戦5-0山形大、2回戦5-0法政大、3回戦1-4駒澤大

■弓道部

○第37回大学対抗親射会(11・30兵庫県明石弓道場)団体Aチーム20射8中で予選敗退。Bチーム20射13中で予選通過、決勝20射13中。皆中賞=乾広(生活3)

■剣道部

○第21回関西学生剣道新人大会(11・16近大記念会館)男子団体3回戦敗退 1回戦2-0花園大、2回戦1-0摂南大、3回戦1-3大院大▽女子個人3回戦敗退=佐々木彩乃(生活1)、田中香帆(経済1)▽同2回戦敗退=井口未来(スポ健1)

■硬式庭球部

○関西大学対抗テニスリーグ(9・13～10・13各大学テニスコート)女子5部2位(3勝1敗)=5-0大谷大、3-2京都大、5-0帝院大、2-3大院大※5部残留

○関西学生地域テニストーナメント(11・8～25 各大学テニスコート)男子シングルス4R進出=高野義広(文化4)、水津和也(国際3)、西村祥(経営1)▽男子ダブルス4R進出=高山慧(国際4)・西村組▽女子シングルスベスト8=榎田舞(スポ健1)▽女子ダブルス4R進出=榎田・濱家綾加(スポ健1)組

■ゴルフ部

○関西学生男子会長杯(11・4～7大甲賀CC)本選 林貴央(経済2)164(80.84)、小宮路真司(スポ健1)161(80.81)▽本戦決勝ラウンド26位タイ=小宮路真司78(40.38)

■サイクリング部

○08年度全日本学生サイクルロードレースカップ第6戦(10・5立命大びわこ・くさつキャンパス)9位 剣持草(交機2)▽12位 伊勢洋人(スポ健1)▽27位 永山貴浩(交機4)

○08年度西日本学生選手権大会加東ロードレース(10・12播磨中央公園内特設コース)優勝 剣持▽12位 伊勢▽24位 興儀良平(国際3)

○第44回全日本学生自転車競技新人大会・西日本大会(10・19大津琵琶湖競輪場)二百メートルタイムトライアル5位 藤村俊之(交機1)▽同14位 小川洋平(流通1)▽1分タイムトライアル決勝16位、ポイントレース決勝8位 剣持▽チームスプリント5位 剣持・藤村・小川

○第26回秋普及大会(11・2京都向日町競輪場)4分速度競争6位、ポイントレース3位、スクラッチ2位 剣持▽1分タイムトライアル7位 藤村▽同10位 小川

■柔道部

○大阪府下大学対抗大会(11・9講道館大阪国際柔道センター)団体1勝2敗=2-1大院大、0-4近大、2-3関西大

○第2回大阪学生柔道体重別大会(11・30吹田市武道館)60kg級優勝 江川晃平(経営2)▽同2位 坂田勇樹(経済1)▽同3位 柴田大地(スポ健1)▽66kg級優勝 吉本幸紀(経済2)▽同8位 中村一真(経営3)・保村涼太(経済1)▽同16位 内田種生(流通1)▽73kg級16位 近藤光太郎(経営1)▽81kg級優勝 岡田昌也(スポ健1)▽同8位 杵淵承平(経営2)▽同16位 野村祐矢(経営3)▽90kg級16位 宮地宏一(経営1)▽100kg級8位 千羽将史(経済2)▽同16位 川田諒(経済2)・阪口祐徳(経済1)▽100kg超級8位 信吉駿佑(経営3)

■準硬式野球部

○第17回六リーグ対抗戦(10・25～11・29南港中央野球場他)西都六大学連盟(1勝1敗3分)=京滋六大学連盟一分、関西西園薬連盟一分、兵庫六大学連盟一敗、近畿六大学連盟一分、阪神六大学連盟一勝

■少林寺拳法部

○少林寺拳法全国大会inおかやま(11・2 岡山もたらうアリーナ)一般男子三段の部・組演武2位 矢野陽祐(経済2)、藤原健太(経済2)組※世界大会(インドネシア)出場権獲得▽一般女子三段の部・組演武決勝戦敗退 青山弥和枝(文化4)・清水

(大阪国際大)組

○関西学生大会新人戦(12・13舞洲アリーナ)男子三段以上の部・自由組演武2位 藤原健太(経済2)・赤木優美(スポ健1)組▽男子段外の部・自由組演武3位 真鍋佑輔(経営1)・橋本大輝(建築1)組▽男子段外の部・単独演武3位 真鍋佑輔(経営1)▽同4位 橋本大輝(建築1)▽女子段外の部・単独演武3位 鳥越景子(スポ健1)

■スキー競技部

○第26回全日本クロスカントリー音威子府大会(12・25～27北海道音威子府)クラシカル7.5分103位、フリー7.5分71位 大下陸也(文化4)▽クラシカル7.5分175位、フリー7.5分204位 植田康孝(文化1)

○第82回全日本学生スキー選手権大会(1・12～18岩手県安比高原)クラシカル10分8位、フリー30分7位、スプリント25位 大下▽クラシカル10分47位、フリー30分51位、スプリント54位 柴山大樹(経営4)▽クラシカル10分41位、フリー30分52位、スプリント53位 植田▽スペシャルジャンプ7位、大回転77位 西村豪迪(流通4)▽スペシャルジャンプ24位 小林寛季(生活4)▽大回転46位 串田和也(流通1)▽回転29位、大回転32位 鬼塚穂高(流通4)▽スノーボード大回転38位 大川直輝(経済2)

■卓球部

○第42回会長杯争奪卓球大会(12・13～14近大記念会館)男子ダブルス3回戦敗退 亀井健太(文化2)・森津拓史(交機2)組▽同2回戦敗退 平木俊介(文化2)・西本俊之(経済1)組、松田賢二(経済4)・樋口貴史(生活4)組、吉田寛(文化1)・貝田耕太郎(流通1)組▽同1回戦敗退 川本佑太(流通2)・鈴木昇(経済1)組、貴志元彦(交機3)・宮坂嶺(文化3)組▽男子シングルス4回戦敗退 松田▽同3回戦敗退 吉田、森津▽同2回戦敗退 亀井、樋口、川本、宮坂▽同1回戦敗退 平木、林聡司(交機1)、西本、貝田、鈴木、貴志▽男子団体1回戦=大産大A3-0和歌山大、大産大C1-3京工維大、2回戦=大産大A0-3神戸大、大産大B3-1滋賀大C▽3回戦=大産大B0-3京都大A

■チアリーディングチーム

○アメリカンフットボールVARSITY BOWL(12・20長居球技場)で桃山学院大、追手門学院大、大阪学院大と合同応援

○アメリカンフットボール・クリスマスボウル(12・23王子スタジアム)で大産大附属高に同校チアリーディング部と合同応援

○成人式(1・11～12大東市市民会館)で中・高・大合同演技披露

■テコンドー部

○全日本学生選手権大会(12・7ナショナルトレーニングセンター)個人男子フィニッシュ2回戦敗退 齋藤武志(電子4)、大久保雅永(国際4)▽同フライ級2回戦敗退 明来和磨(経済2)▽同フェザー級1回戦敗退 宮本泰壽(建築3)▽同ライト級1回戦敗退 中西昂平(機械3)

■日本拳法部

○第24回全日本学生拳法個人選手権大会(10・26 名古屋市枇杷島スポーツセンター)1回戦敗退 高原義正(文化3)、吉村琢(機械4)

■バスケットボール部(男子)

○平成20年度関西学生リーグ(9・6～10・19各大学体育館)1部7位(4勝7敗)=88-56大院大、85-57神戸大、83-77関西大、86-67関学大、87-110京産大、72-84甲南大、55-82立命大、88-93同志社大、69-86天理大、74-83大院大、77-83近畿大※1部残留

○平成20年度関西学生新人戦(12・13～21大商大体育館他)8位=1回戦109-47四天王寺大、2回戦101-47大市大、3回戦69-80京産大

■バレーボール部

○大阪府学生男女選手権大会(11・15～16大商大)優勝(Aチーム)=1回戦2-0大商大B、2回戦2-0近大B、準決勝2-0近大A、決勝2-0大体大A▽1回戦敗退(Bチーム)=1回戦1-2近大A▽2回戦敗退(Cチーム)=1回戦2-0大経法大、2回戦1-2大体大A

○平成20年度全日本大学男女選手権大会(12/1～7東京体育館)予選2-0=橋大▽本選(1回戦シード)2回戦1-3中京大

○全日本学生選抜東西対抗戦2008(12・10～14 早稲田大記念会堂)万松松(国際4)、山添信也(電子3)が西軍選手に選抜。

■ライフル射撃部

○大阪・京都選手権大会(10・12能勢町ライフル射撃場)竹中康朝(情報3)550点、宮井由貴(文化4)542点、野田晴人(経済2)497点(各600点中)

■男子ラクロス部

○関西学生新人戦(11・29～12・6舞洲競技場)予選リーグ2勝1敗=5-8大市大、5-4近大・帝塚山大・大田大合同、6-4大経大・甲南大合同▽決勝リーグ4位=1回戦不戦勝・佛教大、準決勝3-13京都大、3位決定戦6-8大市大

■内燃機関研究部

○第28回本田宗一郎杯Honda エコノパワー燃費競技全国大会(10・18～19ツインリンクもてぎ)グループⅢ(大学クラス、122台エントリー)「アドバンスドフォース1」燃料消費率480(%)、「アドバンスドフォースΦ」燃料消費率94(%)

■吹奏楽部

○ぶんぶん祭りでの依頼演奏(10・18 大東市市民会館)演奏曲「ルパン三世のテーマ」「TSUNAMI」「UFO」「崖の上のポニョ」「涙そうそう」

クラブ活動の記録

○野崎バレードでの依頼演奏(10・19野崎商店街)演奏曲「宇宙戦艦ヤマト」[back to the future]「アルセナール」

■テクノフリック部

○クレオ大阪西依頼出演(11・22 クレオ大阪西) ロボットふれあいイベント・ロボット展示等

○ロボプロステーションinJ&Pテクノランド(11・29 J&Pテクノランド) 16台出場中2位「ツバメ」、3位「ジローちゃん」

*第4回ロボプロステーションチャレンジカップ(12・13 ヴィストン株式会社本社社屋) 42台出場(階級別)1.5*以下優勝「I ges」、3位「ジローちゃん」※全国大会の「ロボゴング9」への出場権獲得▽3*以上優勝「ALCNON?」(Vstonと共同開発)

○ロボゴング9(1・11大阪産業創造館) SRC8位「やまびこ」、2回戦敗退「つばめ」▽JSRC2回戦敗退「ジローちゃん」、「I ges」▽ランブル決勝トーナメント敗退「つばめ」

○ロボプロステーションvol.16(1・17ヴィストン(株)1階社屋) ロボットバトルトーナメント優勝「ジローちゃん」

大産大附属中学校・高等学校

■ウエイトリフティング部

○近畿高校選抜大会(1・17~18明石南高) 56*級3位 甲辺侑太郎(普通進学2)▽62*級1位 早川彰彦(スポーツ2)※ジャーク123*は大会新記録▽同8位 桑村真(普通進学2)▽同10位 石堂謙登(普通進学1)▽69*級5位 川崎隆也(普通進学2)▽同10位 脇田浩一(普通進学2)

■空手道部

○第33回大阪府高校新人大会(11・1~2東大阪市立総合体育館) 男子団体相手9位▽女子個人形9位 五十嵐梨花(国際1)

■剣道部

○第55回大阪高校新人大会(1・25交野市総合体育館) 個人の部64位 浅田剛志(普通特進2)

■ゴルフ部

○平成20年度大阪府高校・中学新人戦(11・28阪奈CC)▽20位タイ 小西翔平(普通進学2) 89(44.45)▽25位タイ 平野亮治(普通特進1) 92(50.42)※2名は3月の決勝進出

○第29回関西高校・中学選手権春季大会(12・17~19ダンロップGC) 予選7位79(40.39)、決勝44位タイ90(50.40) 小西翔平(普通進学2)

■サッカー部

○08年度年間優秀選手賞に向所大祐、坂上博紀

○大阪高校新人大会(1・11~2・22各高校グラウンド他) 2回戦敗退

■柔道部

○第58回大阪高校新人大会兼第50回近畿大会予選会(11・22交野市立総合施設) 男子個人100*級8位 坂本▽女子団体10位※近畿高校新人柔道大会出場権獲得

■少林寺拳法

○第26回近畿高等学校大会(12・20~21和歌山県立体育館) 出場

■テニス部

○第83回全日本選手権大会(11・9~16有明コロシアム) 女子シングルス8位 奈良くるみ(普通特進2)▽女子ダブルス32位 奈良・他校生組

○2008ダンロップワールドチャレンジトーナメント(11・23~30スカイホール豊田) 女子シングルス16位 奈良▽女子ダブルス16位 奈良・米村知子(プロ)組

○第31回全国選抜高校大会近畿地区大会(11・22~23奈良県立明日香庭球場) 女子団体3位 北山由佳、鈴木麻友、野村茄津季、藤原悠里、山崎里奈、横山菜里(以上国際進学2)、岡本佳奈、川端さき、斉藤絢(以上国際進学1)

○平成20年度近畿私立高校大会(12・17~18長浜ドーム) 男子シングルス32位 小笠原誠志(スポーツ2)▽同48位 梶田将広(スポーツ2)▽女子シングルス8位 岡本▽同16位 北山、横山▽同32位 川端

○平成20年度関西ジュニア選抜選手権大会 男子シングルス32位 梶田▽女子シングルス32位 鈴木、藤原、岡本▽同64位 斉藤

○IZAWAクリスマスオープン2008(12・15~21神戸ワールド記念ホール) 女子シングルス16位 奈良

○2008田村杯大阪ウィンタージュニア選手権大会(12・13~1・12朝テニスセンター他) 17歳以下男子シングルス 16位松尾陽大(スポーツ2)、梶田▽同32位 北村圭一(普通進学2)▽同64位 小笠原、服部誠矢(スポーツ2)▽17歳以下男子ダブルス16位 小笠原・松尾組▽17歳以下女子シングルス3位 藤原▽同8位 北山、鈴木、岡本▽同16位 横山、斉藤▽17歳以下女子ダブルス優勝 岡本・斉藤組▽同2位 鈴木・藤原組▽同16位 北山・横山組▽同32位 山口藍(国際進学3)・野村組▽15歳以下女子シングルス16位 川端▽15歳以下女子ダブルス8位 野村・他校生組

■バスケットボール部

○第56回大阪高校新人大会(1・11~25各高校体育館他) 1回戦敗退

■バレーボール部

○第40回全国高校選抜優勝大会大阪府予選(1・18~2・1各高校体育館) 1回戦敗退

■ラグビー部

○第88回全国大会大阪府予選(9・14~11・9花園ラグビー場他) 第3地区準決勝進出

■陸上競技部

○第50回大阪高校駅伝競走大会(1・12大泉緑地) 49位 水川智詞、中村拓己(以上普通特進1)、倉澤侑輝、福本大輝、牧浦成孝(以上普通特進2)

■演劇部

○クリスマス公演(12・22部室)「出逢い系 愛縁奇縁 クリスマス」作:龍見明日香(中2)

編集後記

春は出会いと別れの季節。学園では卒業式、入学式が相次いで行われます。卒業生には大きな羽ばたきを期待し、入学生に希望に満ちた学びの姿勢を求めるのは学園共通の願いです。卒業生・入学生に贈る学長・校長・先輩の声を掲載しました。「希望に向かって走れ」▲大産大附属高アメリカンフットボール部がやってくれました。早大

学院を降して2年連続7回目の全国制覇。しかも、残り13秒の逆転タッチダウンという劇的勝利。産大高ファンはもちろん、一般観衆までもが感動に打ち震えました。大学ラグビー部も創部41年目のAリーグ昇格。学園スポーツの快進撃は続きます▲大産大教育の大看板ともいべきプロジェクト共育の2009年度の内容が固まりました。

NeOSU学生編集部が活動の場となる「ニュース記者体験プロジェクト」など新規11プロジェクトを含め36プロジェクト。ユニークなもの、面白そうなものが勢ぞろい。大学生活を充実させ、社会人力をつける有力な活動。新入生諸君はいずれかを選んで必ず参加しよう。(編集長・山名康弘)

プロジェクト共育

「ニュース記者体験プロジェクト」

に参加しよう。

君も「NeOSU」記者・カメラマン・

イラストレーター・編集者に

募集中!

問い合わせは—学園広報課(本館9階)

e-mail: kouhou@cnt.osaka-sandai.ac.jp まで。

めっちゃ元気! 踊る大産大。

Daisan Dance

高校生向けに本学をPRするWebサイト「大産 Dance♪」を2月22日にアップしました。振付師のラッキィ池田氏が考案した「大産 Dance♪」を本学の学長、教員及び在学生在が大学構内や大阪市内のいろいろな場所で楽しく元気に踊っています。是非、一度アクセスして下さい。

Web版はこちら→ <http://dance.osaka-sandai.ac.jp/>

携帯版はこちら→ <http://dance.osaka-sandai.ac.jp/i/?3>

